

## American Association for the study of liver disease (AASLD)の The liver meetingでの研究発表



目で見る  
海外論文発表

石 神 育 歩\*

Presentation at The Liver Meeting of AASLD

Key Words: Liver, Fibrosis, Oncolytic virus, Drug Repurposing

<参加会議名>

American Association for the study of liver disease  
(AASLD) The liver meeting

<開催場所>

Washington, DC. The United States

<渡航期間>

November 5-14, 2025

<発表タイトル>

Potent antifibrotic effects of oncolytic reovirus on  
liver fibrosis via restoration of activated hepatic  
stellate cells to quiescent status following  
intravenous administration

この度、アメリカ・ワシントン DC で開催された  
American Association for the Study of Liver  
Diseases (AASLD) 主催の The Liver Meeting に  
参加し、ポスター発表を行いました。本学会は肝臓・  
肝疾患研究領域では世界最大規模の学術集会であり、  
基礎研究から臨床研究まで幅広い領域の研究者が集  
まっております。参加者は米国のみならず、ドイツ  
やエジプトをはじめとする世界各国から集い、活発  
な議論が交わされていきました。

私は 腫瘍溶解性ウイルス (抗がん剤) であるレ  
オウイルスが抗がん効果だけでなく、線維化改善効  
果を有することを見出し、そのメカニズムに関する  
研究を行っております。今回は特にレオウイルスの



憧れの先生とともに

肝線維症に対する効果を報告いたしました。学会に  
は、かねてより研究の方向性について助言を頂きた  
いと考えていた米国の著名な研究者の先生も参加さ  
れていたため、直接にアポイントを取り、ポスター  
発表の場で直接ご意見を伺うことができました。ま  
た、発表前後の時間には多くの研究者の方々と議論  
を行い、今後の研究計画を進めるうえで非常に参考  
になるコメントを頂くことができました。

さらに、本学術集会では初日に First Timers  
Meet-Up という初参加者向けの交流プログラムが  
設けられており、海外の大学院生や若手研究者と研  
究内容や日々の研究生活について意見交換を行いま  
した。その後も互いの発表を聞き合い、質問や議論  
を交わすなど、国際的な研究交流を深める大変良い  
機会となりました。

全体を通じて、世界最先端の研究に直接触れられ  
る場が豊富に提供されていること、そして多様なブ

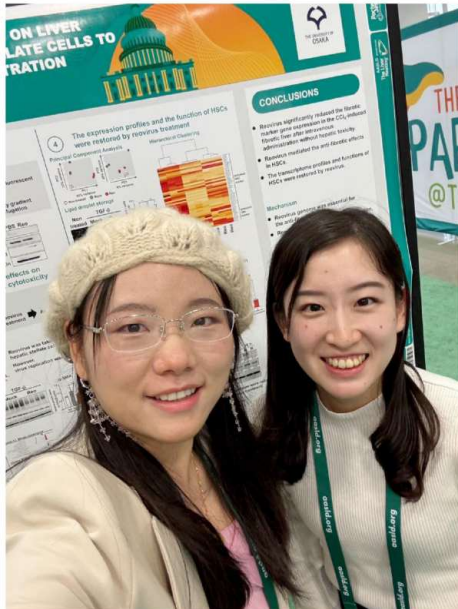


\* Ikuho ISHIGAMI

1998年2月生まれ  
大阪大学大学院 薬学研究科 創成薬学専攻  
博士前期課程 修了  
現在、大阪大学大学院 薬学 研究科 創成  
薬学専攻 博士後期課程3年  
TEL: 06-6879-8188  
E-mail: ishigami-i@phs.osaka-u.ac.jp

プログラムを通じて若手研究者にも積極的に運営や企画に関与する機会が与えられている点が特に印象的でした。今回得た刺激と学びを、今後の研究活動に生かしていきたいです。

最後になりましたが、本学会参加にあたり多大なるご支援を賜りました生産技術振興協会に深く御礼申し上げます。



First Timers Meet-Upにて交流した中国出身の研究者とともに



Meet-the-Experts という特定の分野の第一人者とディスカッションできるセッションいくつかは定員に達しています。

